

AGILE PRODUCT COST MANAGEMENT

おもな機能と利点

おもな機能

- セキュアな製品レコードのコストと調達データの統合
- 製品レコードのリアルタイムの更新
- 柔軟な多次元ビューでの製品レコードの表示
- 設計、調達、サプライヤ、製造業者からの共同入力サポート
- アウトソーシング製品および新製品のチーム・ベースのBOM調達の実現
- 材料費および非材料費の追跡
- 商用のエンジニア部品と製品コスト・シナリオのモデル化および分析
- 強力な分析機能を使用した実際のコストと目標コストの測定
- 関連するサプライ・チェーンへの自動的なコスト・レコードの送信

おもな利点

- 新製品の調達プロセスの効率化および簡素化
- 内部製品および外部製品の原価計算プロセスのソーシング戦略の拡張
- 材料費および非材料費の削減
- 統合されたライフ・サイクル・コストの予測に基づく運用の調整
- サプライヤとの効果的な連携
- 強力な分析機能を使用した効果的な調達決定
- サプライ・チェーンのリスクの最小化
- サプライ・チェーンの効率性の向上

オラクルの *Agile Product Cost Management* を使用すると、製品のライフ・サイクル全体で企業の戦略ソーシング・プロセスを最適化できます。サプライヤ固有のコストとリスク・データおよびエンタープライズ製品レコード（設計、調達、顧客、サプライヤ、および製造の情報を記録した、製品のすべての最新定義）を結合する唯一の企業間の共同ソリューションです。 *Agile Product Cost Management* は、社内組織または外部の多階層の製造業者とサプライヤから取得したデータに基づいて部品表（BOM）の調達分析を実行し、プロセスを事前に分析および調整してコストとリスクを最小化できる統合された製品ライフ・サイクルを提供します。

製品コスト管理の課題

製品ライフ・サイクル全体のコスト管理は、企業にとっての課題です。別々の拠点でプロジェクトが実行および管理されるエンジニアリングおよび製造が分散した環境では、製品と調達の情報が分散して一貫性がなくなります。多くの場合、この情報はアクセス不可かつ非表示で標準化もされず、毎年数百万ドルの利益損失につながります。

さらに、ほとんどの企業は、設計、調達、製造、販売、および廃棄の製品ライフ・サイクル全体でアクティビティをアウトソーシングします。コストを維持するため、企業は、エンタープライズを拡張して顧客、外部サプライヤ、および製造パートナーと連携する必要があります。ただし、戦略ソーシングは、データ集約型および時間依存型です。サプライヤおよび多階層の製造パートナーとともに内部/外部調達チームと設計チームが関連情報を入力し、アクセスできる共同フレームワークが必要になります。オラクルの *Agile Product Collaboration* と *Agile Product Cost Management* を組み合わせると、企業は動的に更新されたフレームワークの製品レコードを表示して効果的に製品コストを管理できます。これによって、真の戦略ソーシングを実現できます。

Agile Product Cost Management の概要

Agile Product Cost Management を使用すると、企業はデータを入力および取得できます。また、エンタープライズ全体および多階層のサプライ・チェーン間で協力してセキュアに分析を実行します。このような強力なフレームワークは、新製品の調達を簡素化します。これによって、企業は最初に状況を把握して製品コストを管理できます。これは、企業がアウトソーシング製品および新製品の戦略ソーシングを決定できる唯一のソリューションです。重要な製品の概念段階からチーム・ベースのBOM調達および製品コスト協力を実現します。

関連製品**AGILE PRODUCT LIFECYCLE MANAGEMENT**

Agile Product Lifecycle Management によって、企業は、製品ライフ・サイクルを通じた収益の増加、コストの削減、品質の向上、コンプライアンスの確保、および改革の推進を実現できます。広範なベスト・プラクティスのエンタープライズ・クラスの製品ライフ・サイクル管理ソリューションを使用して、製品を最大限に活用できます。

関連製品

- Agile Product Collaboration
 - Agile Product Governance and Compliance
 - Agile Product Quality Management
- Agile Product Portfolio Management
- Agile Product Portfolio Management
- Agile Food and Drug Administration Validation Pack
- AutoVue Electro-Mechanical Professional for Agile

Agile Product Cost Management は、調達データと一般的なエンタープライズ製品レコード (BOM、仕様、図面、モデル、および承認された製造業者を含む製品のすべての最新定義) を統合する唯一のソリューションです。これによって、企業はソーシング戦略の持続可能性を監視し、サプライヤのすべての専門知識を活用して、製品の継続コストを削減できます。最終的に、調達に従事するおもな利害関係者がリアルタイムで動的に情報を共有して製品ライフ・サイクルの統合されたビューに基づいて運用を調整できるため、有益な製品が市場に適切に提供されます。

Agile Product Cost Management は、次の重要な機能を提供します。

開発調達

企業は、調達オプションを確認して、品質、利益、および効率性を最大にするために製品を調達する最適な方法を決定する必要があります。これを正しく行うため、意思決定者は、設計チーム、サプライヤ、製造業者、製品チームなどを含むエンタープライズ全体の個人およびチームからの入力を要求します。開発調達機能は、製品レコードのフレームワークの共同入力をサポートするプラットフォームを使用して、このプロセスを効率化および簡素化します。重要な入力は中央に保存されて定期的に更新されます。すべての主要な利害関係者は直感的な形式でアクセスできます。この結果、企業は、サプライヤと効果的に連携し、新しい材料費と非材料費を収集および評価して、最適な調達決定を行うためにリスクとデータを分析できます。

価格管理

価格管理機能を使用すると、直接材料サプライヤと契約した価格とともに契約条項を含む契約情報をエンタープライズ間で取得できます。内部および外部の利害関係者にこの情報を表示すると、グローバルな組織は、現在および将来の価格の変更、承認、およびフィードバックのプロセスを効率的に管理できます。これによって、意思決定者は、下流製品の原価計算プロセスの正確な最新の価格を使用および適用できます。統合されたエンタープライズ製品レコードのこの情報を取得すると、サプライヤ・ベースの複数の層で最新の価格を表示できます。一般的な製品コスト・レコードのこの向上した透過性と正確性によって、コストを無駄にするリスクが大幅に軽減され、全体の製品ライフ・サイクルの収益性が向上します。

お問合せ先

オラクルの Agile Product Cost Management の機能の利用方法についての詳細は、oracle.com を参照するか、1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問合せください。

Copyright © 2005, 2007, Oracle Corporation and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否定し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。